

平成 24年度第 5回青森市景観審議会 会議概要

会議名	平成 24 年度第 5回青森市景観審議会
開催日時・場所	平成 25 年 3 月 21 日 (木) 16 時 00 分 ~ 17 時 00 分 青森市役所 柳川庁舎 2 階 講堂
出席者	<p>< 審議委員 > 石澤委員、斎藤委員、櫻田委員、須藤委員、竹浪委員、玉熊委員、対馬委員、藤川委員、水尻委員、森内委員、山本委員</p> <p>< 事務局 > 都市整備部 : 工藤理事、小野次長、木村次長、 都市政策課 : 長井課長、工藤副参事、今野主幹、木村技師、中堤技師</p> <p>< 担当課 > 浪岡事務所総務課 : 棟方課長、長谷川主幹 浪岡事務所都市整備課 : 館田主幹、木村主査 教育委員会浪岡教育事務所教育課 : 鳴海課長、阿部主幹 青森地域広域消防事務組合消防本部庶務課 : 長谷川主幹</p> <p>設計委託先 (株)鳳建築設計事務所 : 工藤、佐藤 株式会社まちづくりフォーラム : 横山、佐藤 (有)花田設計 : 花田 内山建築設計事務所 : 岡澤、柴</p>
欠席者	佐々木委員、安保委員、板垣委員、近藤委員、西塚委員
担当課	案件 1【浪岡庁舎周辺整備事業】 【資料 1】浪岡庁舎周辺整備事業資料に基づき説明。
山本委員	冬期間の雪を寄せる場所はどこになるのか。
担当課	公民館北側、ステージ前のバスの駐車場、車庫の西側のあたりが雪の堆雪場所である。それと、狭いが庁舎西側と北側のあたりも堆雪場所である。
山本委員	融雪は入るのか。
担当課	障害者の駐車場の部分だけ融雪が入る。
山本委員	高い雪山ができるだろうから安全性を配慮いただきたいと思う。
議長 (森内委員)	サインに関して、専門家である石澤委員、何かないか。
石澤委員	この計画で問題ないと思う。
議長 (森内委員)	石澤委員は概ねよろしいかという事だが、植栽に関して齋藤委員はいかがか。
斎藤委員	前回から改善されていて非常にいいと思うが、ウメは管理の難しい木なので少し気

	になる。シンボルツリーとしてケヤキを持ってきた事については、よく検討していただいたと思う
藤川委員	上を見上げなければならないサインだけなので、全体像が見渡せる案内板のようなものがあればよいのではないか。
担当課	遠くから見ても分かることと、冬の積雪を考慮している。
藤川委員	冬以外も訪れるので、その時のことを考えていただきたい。
石澤委員	藤川委員がおっしゃっているのは、全体像が見られる配置図のような案内板だと思うが、あっていいと思う
担当課	敷地がそれほど広大ではなく、どの地点からも建物が一望に見渡せることから案内板を設けていない。
藤川委員	建物がそれぞれ同じような色彩、形状で、初めて訪れた人が「あれは何の建物だろう」と思うので、あった方がよいのではないかと思った。
議長 (森内委員)	機能が建物に見えてこないから逆にサインが必要になるのかなど私は思う。消防署が消防らしく見えないというのがいいことなのか悪いことなのか。その辺いかがか。
担当課	消防署には一目で消防署と分かるように、赤灯を設置することや、道路側に「浪岡消防署」という表示をすること、そしてシャッター部分に「119」等の表示をする予定である。 中央公民館についても、入口に「浪岡中央公民館」という表示をし、パンフレット等でPRしていくこととしている。
藤川委員	入口の表示には「バサラくん」はつづのか。
担当課	「バサラくん」を付けることは考えていない。
玉熊委員	植栽について図面に樹種を明記しているが、花の色や形状も様々あるので、もしこだわるのであれば図面に詳しく書いた方がよい。このまま発注すると同じ色 形状のものばかりになってしまう そして、前回話になったかもしれないが、既存樹木の検査をやったほうがよいと思う
須藤委員	敷地の真ん中に総合保健福祉センターの方に抜ける通路があり、浪岡小学校の児童や一般車両が通ることが予想されるが、交通事故に対する対策は考えているのか。
担当課	歩道部分について着色アスファルトで色を付け、車道と明らかに区別する。また、なるべく視界を遮るように樹を植え、車のスピードを出させないように配慮する。
水尻委員	既設の照明を移設することだが、既設のものはどの辺にあるのか。
担当課	資料の浪岡庁舎周辺整備事業【図面】の図2に記載しているが、既存の照明は四

	<p>角に十字で表しており、消防署の前や敷地の角等にある。そして、新設としては、丸に十字で表しているが、駐車場の中央等に LED 照明を配置する予定である。</p>
石澤委員	<p>野外ステージにベンチや水飲み場があると市民が憩える場所として有効活用できる緑地になると思う</p> <p>また、自動車用のサインについて、白地に青色のデザインというのが県道のサインとして規定があるが、公的な場を示すものであれば茶色も使える。歩行者用のサインを茶色ベースにしているので、統一感を出すのであれば茶色に白のサインも検討してみてもどうか。</p> <p>そして、サインのサイズがこれでよいか、実際に現場で原寸をあてて歩行者から見えるか、車から見えるかを確認していただきたい。</p>
山本委員	<p>デザインコンセプトが「中世の里なみおか」とのことだが、浪岡地区は中世をイメージできる景観を目指すということか。これからできる公共建築物もそのような形態や色を使っていくのか。</p>
担当課	<p>「中世の里なみおか」の基になっている浪岡町時代の基本整備計画を見ると、歴史的景観を保全する必要がある地域、歴史的景観をイメージして整備する地域、自然環境を保全する地域、無規制地域と分けており、全ての地区で中世をイメージするものではない。</p> <p>計画地は歴史的景観をイメージして整備する地域ということになっており、そのイメージで整備していく</p>
議長 (森内委員)	<p>この建物がはたして中世のイメージで、これからの浪岡というイメージで造られているのか確認をしたい。同じコンセプトのわりに浪岡駅舎とは少し違うようなイメージに感じる。</p>
担当課	<p>浪岡駅舎については、壁がガラス張りだが、アピネスの部分については庇を広くとって建物的に中世のイメージを持たせている。</p> <p>なお、総合保健福祉センターが中世のイメージに近い形で整備したところだが、無落雪屋根ではないため、落雪で壁に穴があいてしまった。こういった経緯もあり、昨年の8月と10月に地区の代表者の方々から意見を頂戴したところ、冬の雪対策を考えて無落雪屋根で計画してほしいという要望があり、それを取り入れた形で今回の計画を立てている。</p>
議長 (森内委員)	<p>この屋根がこれからの浪岡のイメージということでよろしいか。</p>
担当課	<p>無落雪屋根だと中世のイメージとかけ離れた形になるため、パラペットのところ、中世の建物のイメージを出している。また、中央公民館については、前面の方に小見世のような庇を設けている。</p>

議長 (森内委員)	説明があったが、竹浪委員いかがか。
竹浪委員	お話を伺っていたが、前回に比べて色々配慮しているため、私はよろしいと思う。
議長 (森内委員)	対馬委員はいかがか。
対馬委員	「中世」のイメージは計画地のコンセプトということだが、浪岡地区全体のグランドデザインではないのか。
石澤委員	<p>今回の建物に関して、せめてこのエリアだけでも中世の里をコンセプトとしたまちづくりをしようというのはとても大事である。将来のビジョンを掲げて公共建築物がインシアティブをとっていくことで民間の建物を導き、中世の里にふさわしいものが出来ていくのだと思う。</p> <p>今回コンセプトを掲げて整備するということは、評価に値すると思う。</p>
議長 (森内委員)	<p>他になければまとめさせていただく。</p> <p>雪を寄せる場所や安全性の配慮、ウメの管理について注意する、分かりやすいサインとする、敷地内通路については、カラーアスファルトによる色分けで歩道と車道との分離し、子ども達の安全を図るということであった。</p> <p>それでまあ概ね皆さん了解ということでしたけれども、これからのコンセプトなるものを大事にする、またはもう一回見直すときが来たらまたしっかりと見据えてですね、街並みの景観を守っていただければと思っています。</p> <p>ということで、事務局にお返します。</p>
	終了